



Skillnote

2022年11月22日
富士通株式会社
川崎重工業株式会社
SAP ジャパン株式会社
株式会社 Skillnote

製造業の DX を支援する プラットフォームサービスの提供に向けた協業検討を開始 ～サプライチェーンの強靱化に貢献～

富士通株式会社（注 1）（以下、富士通）、川崎重工業株式会社（注 2）（以下、川崎重工）、SAP ジャパン株式会社（注 3）（以下、SAP ジャパン）、株式会社 Skillnote（注 4）（以下、Skillnote）は、航空機、鉄道、船舶、大型機械の製造といった人手による作業への依存度が高い製造業におけるデジタルトランスフォーメーション（以下、DX）を支援するプラットフォームサービスの提供に向けた協業検討を開始しました。

このたび 4 社は、各社が有する DX、システム構築、エンジニアリングに関する経験やノウハウを結集し、サプライチェーンを強靱化する「みんなで育てる製造業プラットフォームサービス」の創出に取り組みます。

1. 背景・目的

製造業では急激な環境変化への対応や少子高齢化などを背景とした労働人口の減少により、サプライチェーン全体としての事業継続の仕組みづくりや、技術・技能の標準化・形式知化の必要性が高まっています。

一方、現場の製造管理業務では依然としてデジタル化されていない人手に頼る作業も多くあることが課題となっています。特に中小メーカーでは、人材不足、投資対効果の算出が難しいことなどが、DX 化の導入障壁となっています。さらに、各社の局所的なデジタル化・システム化は、サプライチェーン全体や設計をはじめとするエンジニアリングチェーン（注 5）との連動において、全体最適を阻むサイロ化が懸念されます。

これらの課題を解決し、共通化されたデータや情報を使い、高品質なものづくりを効率よく継続するベースの提供が、「みんなで育てる製造業プラットフォームサービス（以下、プラットフォームサービス）」です。

今後 4 社は、すでに稼働している高品質な製造管理プロセスと、ユーザ間のコミュニティ基盤を合わせた、ユーザ主体導入・統一業務・統一データのプラットフォームを、サブスクリプションで利用可能なサービスとして提供することを検討していきます。

2. プラットフォームサービスの特長

① 設計部門から製造現場までをワンストップでつなぐ業務プロセスの提供

製造業がグローバル市場で発展するためには、エンジニアリングチェーンで生み出された「価値」をサプライチェーンの最前線である製造現場へつなげ、その状況をリアルタイムでモニタリングし、設計にフィードバックする素早いサイクルが求められます。そのためには設計部門と製造現場間の緊密なデータ連携や、正確な変更管理の実施、アクティビティの可視化が必須です。

川崎重工の航空宇宙システムカンパニーでは、「Smart-K(注 6)プロジェクト」と銘打ち、高い品質と透明性が求められる航空機の製造プロセスを標準化し、富士通および SAP ジャパンとともに、SAP が提供する「SAP S/4HANA[®] Manufacturing for Production Engineering and Operations(PEO)」を導入することでデジタル化を実現しました。「Smart-K プロジェクト」では、PEO（注 7）によって製造現場を ERP や PLM と連携させ、エンジニアリングチェーンとサ

サプライチェーンがワンストップでつながり、技術要求の厳格なフローダウンと製造現場の状況をリアルタイムで把握することが可能となりました。

本プラットフォームサービスでは、「Smart-K プロジェクト」で培われた高品質かつ効率的な業務プロセスを汎用化し、サブスクリプションサービスとして幅広い分野の製造業のサプライチェーンに価値を提供します。

② ユーザ主体のシステム導入と DX スキルの向上を支援

本プラットフォームサービスでは、ユーザ主体でシステム導入が可能となるよう、富士通のシステム導入に関するノウハウやコンテンツをサービス化して提供します。さらに、ユーザ企業の主体的な業務変革とシステム運用の継続的な改善を実行できる DX スキルの向上を支援します。

③ 参加型のプラットフォームサービス

システム導入では、ユーザ企業の負担を軽減する「Fit to Standard（注8）」の取り組みが加速しています。これは DX における効果的な考え方（標準機能に業務を合わせる）ですが、一方でシステムに対する改善要望が反映できないという懸念もありました。本サービスでは、ユーザがシステムに対する改善要望と開発優先順位を共有して「Standard」を育てることを目指します。

またシステム導入後の業務運用、特に製造業におけるエンジニアリングの役割は極めて重要です。業務上必要なマスタ作成支援などのエンジニアリングサービスを提供することで、プラットフォームの利用価値を高めます。

さらにその価値を最大化するため、プラットフォーム上のデータ活用と各種 SaaS との連携にも取り組みます。Skillnote は、製造現場のスキル管理、資格管理、教育計画などを通じ、技能伝承などの人材育成を支援する取り組みを SaaS 型のサービスとして提供しています。同社の協力により本サービスのプラットフォーム上でも製造現場のスキルマネジメントと製造実行を確実に連携させるとともに、さらなるサービスの発展に貢献します。

3.各社の役割

富士通	プラットフォームサービスの構築・運営
川崎重工	業務プロセスの提供
SAP ジャパン	アプリケーション、プラットフォームの提供
Skillnote	製造現場のスキル管理・資格管理・教育管理ソリューションの提供

4.協業検討の概要・スケジュール

今後、プラットフォームサービスの構築、ユーザ企業や各種団体へのヒアリングをもとに周辺の支援サービスのメニュー化を実施し、2023 年度上期にかけて航空機エンジンの部品製造などを行う AeroEdge 株式会社（注9）を皮切りに数社でのテストを経て、2023 年 7 月のサービスインに向けて活動していきます。

【 商標について 】

記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

【 注釈 】

（注1）富士通株式会社：本社 東京都港区、代表取締役社長 時田 隆仁。

（注2）川崎重工業株式会社：本社 東京都港区、代表取締役社長執行役員 橋本 康彦。

（注3）SAPジャパン株式会社：本社 東京都千代田区、代表取締役社長 鈴木 洋史。

(注4) 株式会社Skillnote：本社 東京都中央区、代表取締役社長 山川 隆史。

(注5) エンジニアリングチェーン：製造プロセスにおける設計部門を中心とした業務。

(注6) Smart-K：川崎重工が取り組む航空機の製造革新活動。富士通、SAPジャパンが航空機製造業務プロセスの効率化を支援するSAPソリューションを導入。

(注7) PEO：Production Engineering & Operationの略。技術部門と製造現場管理の情報をワンストップで統合し、お客様市場変化への対応と、製造現場における品質マネジメントに迅速に対応して競争力強化を図る手法。

(注8) Fit to Standard：ERPを導入する際、アドオン開発を追加で行わずに、業務内容をERPの標準機能に合わせていく手法。

(注9) AeroEdge株式会社：本社 栃木県足利市、代表取締役社長 森西 淳。

【 関連リンク 】

・富士通、川崎重工業様の航空機製造業務プロセスの効率化を支援する SAP ソリューションの導入に向けて設計を完了（2019年12月5日発表）

<https://pr.fujitsu.com/jp/news/2019/12/5-1.html>

以 上

«本件に関するお問い合わせ»

富士通コンタクトライン（総合窓口）

電話 0120-933-200

受付時間：9:00～12:00および13:00～17:30（土・日・祝日・富士通指定の休業日を除く）

お問い合わせフォーム

<https://contactline.jp.fujitsu.com/customform/csque04802/873532/>

川崎重工業株式会社

https://kawasaki-corporate.spiral-site.com/public_relations_JP

SAPジャパン株式会社

電話：0120-786-727

<http://www.sap.com/japan/contactsap>

株式会社Skillnote ソリューションセールスDiv.マーケティンググループ

電話：03-6262-5040

お問い合わせフォーム：

<https://www.skillnote.jp/inquiry/>

«報道関係者お問い合わせ»

富士通株式会社 広報IR室

電話：03-6252-2174（直通）

川崎重工業株式会社 コーポレートコミュニケーション総括部 PR部

電話：03-3435-2130（直通）

SAPジャパン株式会社 広報 緒方麻弓子

電話：090-4841-4157（直通）

株式会社Skillnote 広報担当

電話：03-6262-5040